

第2回ダイバーシティ推進ネットワーク会議議事要旨

日 時：平成30年10月15日（月）15：00～16：20

場 所：ゆうキャンパス・ステーション

出席者：委員9名、事務局2名（配布名簿のとおり）

1 今年度の活動について

(1) 加盟機関の男女共同参画の推進状況に関するアンケートについて

議長から、本コンソーシアム加盟機関の現在の推進状況を共有する目的でアンケートを実施したい旨、資料1に基づき説明があった。

このことについて、現状把握は必要であるとの意見が多くアンケートを実施することです承された。

なお、実施することについて、10月末までにアンケートの各項目の詳しい定義を明確にすることとした。

(2) 平成30年度シンポジウム（平成31年3月8日開催）について

議長から、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ3機関合同シンポジウムに関して、資料2に基づき以下の説明があった。

- ・平成31年3月8日（金）に山形大学小白川キャンパスで行う予定。
- ・基調講演は、東北公益文科大学の伊藤眞知子教授に行ってもらうことで内諾を得ている。
- ・また、顔が見える交流という意味から、(6)「ダイバーシティ推進ネットワーク」男女共同参画推進状況アンケートの報告として、各委員から報告していただき(7)トークセッションに繋げたいと考えている。

特に(6)「ダイバーシティ推進ネットワーク」男女共同参画推進状況アンケートの報告について、以下の意見があった。

- ・アンケートの報告であれば、数字の部分は表でわかるので、発表は現状と課題のみで良いのではないか。
- ・報告することについて、内輪での話はできるが一般の方を交えた場で話すことは、機関の長ならまだしも我々委員レベルでは責任ある話はしにくい。
- ・我々が発表となると、状況を全て把握しているわけではないので、現場の見方とは異なる場合がある。
- ・報告者は内部で調整すれば委員に限らなくともよいか。→はい。

このことについて議長から、このシンポジウムはダイバーシティ補助事業であるため、大日本印刷株式会社及び山形県立米沢栄養大学にも諮る必要があることから変更があるかもしれないが、まずは委員の皆様と根幹のところを相談した。また、幹事会へも報告しながら進めることとなるが、意見があれば10月末までお願いしたい旨の話があった。

2 次年度の活動計画について

議長から、はじめに資料3及び参考資料1～2に基づき(1)今年度の活動状況についての説明があり、次いで(2)次年度の活動計画について以下の説明があった。

①ダイバーシティ事業の公開

・今年度と同様に実施する予定。

②その他の事業公開や希望事業

・事業公開や希望事業があれば、12月までメール等で教えていただきたい。

③共同宣言

・参考資料3の下方にあるような「共同宣言」をダイバーシティ推進ネットワークで行いたい。学長等による宣言としたいので性急にしないで、来年、年度末に向けて準備をして諮っていききたい。

④全国ネットワーク中核機関(群)について

・今年度、山形大学が参考資料4の文部科学省の新規事業「全国ネットワーク中核機関(群)」に協働機関として申請し採択された。今後、県内及び南東北ネットワークの構築を目指していく旨の報告があった。

3 情報交換

参加委員一人ずつ意見・感想を述べた。

以上

【配布資料】

番号なし ダイバーシティ推進ネットワーク会議委員名簿及び出欠表

資料1 加盟機関の男女共同参画の推進状況に関するアンケートについて

資料2 平成30年度シンポジウム(平成31年3月8日開催)について

資料3 今年度の活動状況と次年度の活動計画について

参考資料1 アカデミックイングリッシュセミナー

参考資料2 女性研究者成果発表会

参考資料3 男女共同参画に向けた大学連携・山形宣言

参考資料4 全国ネットワーク中核機関(群)

当日配布 ニュースレター No.23 2018